

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------|--------|------------------|
| 建物名称 | Dプロジェクト厚木森の里 | 階数 | 地上6F |
| 建設地 | 神奈川県厚木市下古沢字細田1006番 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域 | 平均居住人員 | 200人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 3,800時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年3月 予定 | 評価の実施日 | 2020年9月15日 |
| 敷地面積 | 31,998㎡ | 作成者 | 大成建設株式会社一級建築士事務所 |
| 建築面積 | 16,109㎡ | 確認日 | 2020年9月16日 |
| 延床面積 | 58,600㎡ | 確認者 | 大成建設株式会社一級建築士事務所 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|---|
| 総合 外構緑地率を確保した上、駐車場及びトラックの交通上の安全と利用者の利便性を考慮した建物計画としています。 | | その他 構造は両方向ブレース構造(柱:RC造、梁:S造) 過半を超える構造はS造です |
| Q1 室内環境 0 | Q2 サービス性能 ・空調、給排水配管の更新必要間隔において主要な用途上位3種の2種以上にBを使用しEは不使用である。 ・3.9m以上のゆとりある階高である。 ・空間の形状、自由さとして「壁長さ比率」<0.1である。 ・荷重のゆとりは4500N/m以上である。 | Q3 室外環境(敷地内) 0 |
| LR1 エネルギー ・建物で消費される各種エネルギー消費量を年間にわたって把握し、消費原単位等を用いてのベンチマーク比較が行える計画である。 ・運用管理の組織、体制、管理方針を計画している。またそれらが組織化され責任者が指名されている。 | LR2 資源・マテリアル ・節水コマなどに加えて省水型機器などを用い水資源の保護に努めている。 ・リサイクル資材を3品目以上用いている。 | LR3 敷地外環境 ・燃焼機器を使用しておらず、対象建築物の仮想空間から外部空間に対して大気汚染物質を全く発生しない。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい